

なかしま

# 中島地区

面積：37.35 km<sup>2</sup>

人口：3,785人（高齢化率 65.4%）

世帯数：2,150世帯

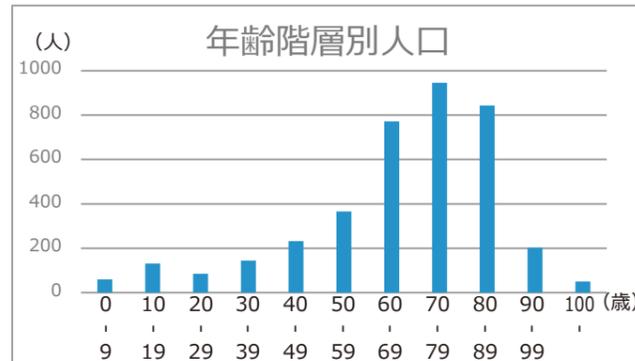


## 【地区の特色】

瀬戸内海の沖合いに浮かぶ中島は、6つの有人島と22の無人島から成っており、古くから忽那諸島と呼ばれ、豪族の忽那氏が瀬戸内海を舞台に活躍した栄華の名残りが今もなお跡をとどめている。温暖な気候と恵まれた自然があふれ、年間を通じて釣りが楽しめるほか、春にはみかんの花が咲き、夏にはトライアスロン大会や海水浴、秋には黄金色の実が甘い香りが島全体を包んでいる。



夏の風物詩 トライアスロン



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民が少数のため、災害時等の場合には協力体制は強い</li> <li>住民がみんな顔見知り</li> <li>隣組制度がある ・強い自治組織が確立されている</li> <li>地区消防団員の活動が盛ん</li> <li>グラウンドゴルフ、クロッカー、ゲートボールの活動が盛ん</li> <li>伝統行事を守ろうとする意識が強い ・みかん、魚がおいしい</li> <li>畑が借りやすい（移住者を呼び込みやすい） ・移住者が多い</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が少ないため新しい行事、活動に取り組む意欲がない</li> <li>島を盛り上げたいという一体感がない ・働く場所が無い</li> <li>様々な組織の会長、リーダーの高齢化、後継者不足</li> <li>民生委員 ・児童委員、見守り員による活動範囲の制限</li> <li>高齢化率が高く、災害時の避難行動が不安 ・休耕地、耕作放棄地が多い</li> <li>若者の結婚が少ない</li> <li>隣組制度が崩れてきている</li> </ul>
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の数が多い ・女性の高齢者、一人暮らしをする人が増加</li> <li>会長、リーダーの高齢化 ・後継者不足</li> <li>跡取り、介護者不足</li> <li>若者が住めるための産業がない</li> <li>民生委員 ・児童委員、見守り員の高齢化により活動に制限がある</li> <li>海のため、交通が不便</li> <li>高齢者の行く場所がない ・島で最期を迎えられない</li> <li>高齢者もしてもらっただけではなくできることをするという意識</li> </ul>

## 中島地区社会福祉協議会

広げよう 6つの島の 福祉の輪

<拠点> 松山市役所中島支所 2階 TEL：089-997-1822 / FAX：089-997-1833

構成団体	地区民協・公民館・総代会・支所・サロン代表・福祉施設・学識経験者 高齢クラブ連合会・食生活改善推進協議会・ボランティア代表・定住促進会・議員 PTA
主な取り組み	活動内容
給食サービス	70歳以上の1人暮らしの高齢者・要援護世帯の方を対象に、春・秋・歳末に各地区民生委員が訪問しお弁当を配っています。
健康体操	1日でも長く自立した生活を送ることを目的とし、ストレッチと筋トレを行っています。毎週水曜日、参加費は無料です。
サロン事業	いきいきサロン3ヶ所、地域交流4ヶ所、地区社協独自6ヶ所の支援を継続して実施し、住民の交流の場の促進に努めています。

## 中島地区社会福祉大会

関係団体との連携を図りながら住み慣れた地域で誰もが安心して福祉サービスを利用し、個々の尊厳の保持と自分らしい生活を送ることができる地域社会づくりを推進することを目的として毎年開催しています。参加者の皆様の協力による「伊予柑1個運動」では、東日本大震災の復興支援をきっかけにつながりが続いている福島県郡山市へ毎年、伊予柑を送っています。



## <地区社協が目指すもの>

中島地区では急速な少子高齢化や人口減少社会の到来、情報化社会の進展など私たちを取り巻く社会情勢が大きく変化し、地域コミュニティにおける人間関係が希薄となる中で、児童虐待、引きこもりや孤独死、さらには高齢者を狙った振り込め詐欺など大きな社会問題が顕在化しています。

そのため、「誰もが笑顔で安心して暮らすことが出来る福祉のまちづくり」を推進していくためには、色々な社会問題に対し私たち住民自らが主体的に支えあい「自分たちの住む地域は自分たちで守り創る」という住民意識の醸成と実践が何よりも重要と考えています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	27名 2名	■町内会・自治会・区長会等	17団体
	■まち協の設立	平成20年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	14クラブ 0団体 17組織

夏の風物詩となっている中島トライアスロンでは全国からのアスリートを受け入れ、島全体で盛り上げています。少子高齢化が進む中でこのようなイベントに限らず住民間による災害時の協力体制や地区消防団員の活発な活動など、皆が顔見知りだという点をいかした活動が特徴としてあげられます。特に地区社協による給食サービスやサロン事業は高齢者の孤立化を予防するとともに、人のつながりを維持する基盤になっているといえます。住民間のつながりをいかして、これからの福祉課題に対処する独自の取り組みへの転換が期待されています。



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

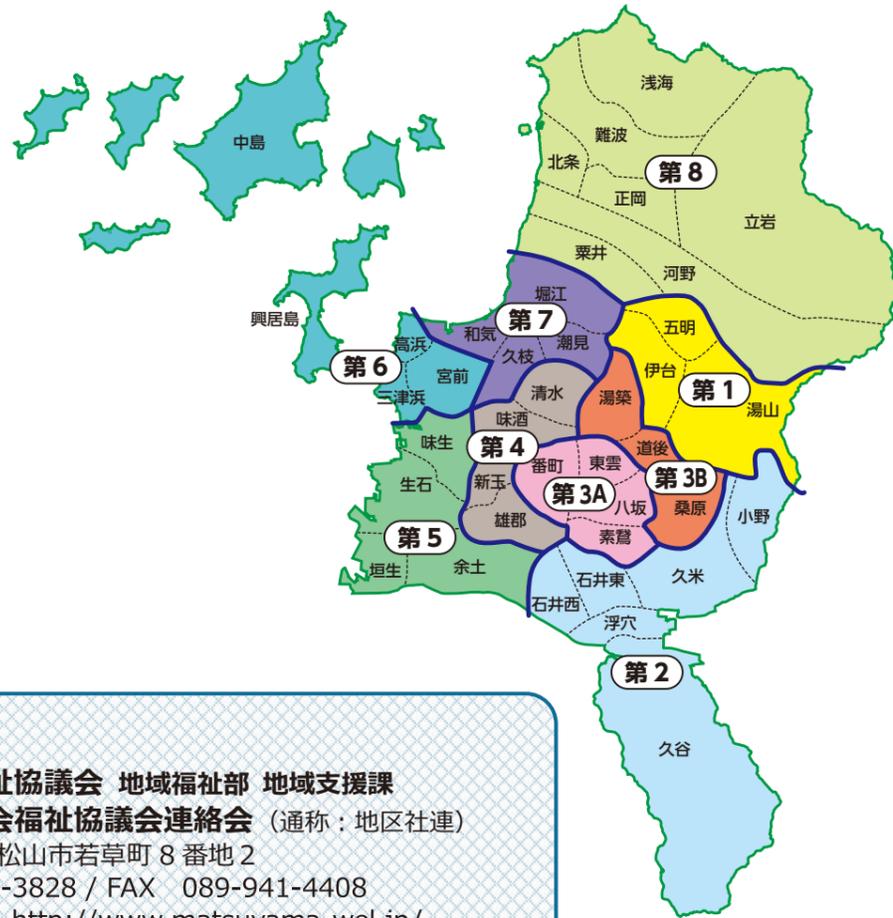
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

②地域住民からみた地域の状況

③地区社協の概要と取り組み

④地区内関係団体データ

⑤地域福祉推進のポイント

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏